

2. 6. 2. 教育実績概要

職名： 教授	氏名： 高田 豊雄
--------	-----------

言語情報学講座(高田 I 研究室)に同じ

職名： 准教授	氏名： 王 家宏
---------	----------

[教育活動]

(a) 学部担当授業科目

基盤システム学, 基盤システム設計論, ソフトウェア演習 A/B/C, 基盤システム演習 A/B/C, 基盤システムゼミ A/B, 卒業研究・制作 A/B

(b) 研究科担当授業科目

基盤構築特論, ソフトウェア情報学ゼミナール I/II/III, ソフトウェア情報学研究

(c) その他（教育内容・方法の工夫, 作成した教材など）

特になし

[研究活動]

(a) 著書

該当なし

(b) 学術論文

該当なし

(c) 研究発表

国際会議（査読付き）

- 1) Ryo Hatakeyama, Jiahong Wang, Eiichiro Kodama, Toyoo Takata: Collaboratively Mining Maximal Frequent Pattern Relations without Disclosing Private Data, Proceedings of the IASTED International Conference on Parallel and Distributed Computing Networks (PDCN2009), pp.175-180 (Feb. 2009).

国内学会, 研究会

- 1) 及川 一樹, 王 家宏, 児玉 英一郎, 高田 豊雄: 一般化メルセンヌ素数が法の時の還元法とその楕円曲線暗号の共通言語基盤実装への適用について, 平成 20 年度 電気関係学会東北支部連合大会 講演論文集, p. 195 (Aug. 2008).
- 2) 高橋 宏美, 王 家宏, 児玉 英一郎, 高田 豊雄: Time Point を用いた Transitional Ratio マイニング, 平成 20 年度 電気関係学会東北支部連合大会 講演論文集, p. 196 (Aug. 2008).
- 3) 阿部 瑠美子, 児玉 英一郎, 王 家宏, 高田 豊雄: セマンティック Wiki を利用したオントロジーの自動構築に関する考察, 平成 20 年度 電気関係学会東北支部連合大会 講演論文集, p. 217 (Aug. 2008).
- 4) 畠山 陵, 王 家宏, 児玉 英一郎, 高田 豊雄: 分散環境におけるサイト間の頻出パターンの関連性抽出に関する研究, 平成 20 年度 電気関係学会東北支部連合大会 講演論文集, p. 218 (Aug. 2008).
- 5) 酒匂 大輔, 児玉 英一郎, 王 家宏, 高田 豊雄: 次世代ネットワークにおける Web カメラの検索に関する考察, 平成 20 年度 電気関係学会東北支部連合大会 講演論文集, p. 219 (Aug. 2008).
- 6) 畠山 陵, 王 家宏, 児玉 英一郎, 高田 豊雄: 分散環境におけるサイト間の頻出パターンの関連性抽出に関する研究, 電子情報通信学会技術報告, AI2008-41~44[人工知能と知識処理], pp. 1-5 (Jan. 2009).
- 7) 及川 一樹, 王 家宏, 児玉 英一郎, 高田 豊雄: 受信者の匿名性を送信者に対しても確保可能な DHT を利用した匿名通信路構築手法の提案, 2009 年 暗号と情報セキュリティシンポジウム 予稿集 2F3-3 (6 ページ), 同概要集 p.155 (Jan. 2009).

(d) 研究費の獲得

- 1) 文部科学省科学研究費，基盤研究(C)(2)，次世代Webを用いたWebカメラ検索環境の構築（課題番号19500088），
2,500,000円（平成19年度～平成21年度），（研究分担者，代表：児玉英一郎）

(e) その他総説・解説、調査報告・市場調査、特許、受賞、報道など

該当なし

[大学運営]

(a) 全学委員会

該当なし

(b) 学部/研究科の委員会

学術推進委員会，入試委員会

(c) 学生支援

該当なし

(d) その他

該当なし

[社会貢献]

(a) 国や地方自治体などにおける活動

該当なし

(b) 企業・団体などにおける活動

該当なし

(c) 一般教育

該当なし

(d) 産学連携

該当なし

(e) 学会などにおける活動

- 1) The International Wireless Communications and Mobile Computing Conference (IWCMC2009) Mobile Computing Symposium. Program Committee Member
- 2) The International Conference on Communications and Mobile Computing (CMC 2009), Wireless Networking Symposium. Program Committee Member

(f) その他

- 1) IEEE, IEICE, and IPSJ Members.

[主な業績]

Discovering Relationship between Frequent Patterns at Two Collaborative Web Sites

In the modern business world, for their mutual benefit two companies may collaborate in such a way that, the one starts a transaction and processes the first part of it, and the other processes the remainder. For this kind of applications, it is very important to discover such pattern relations that, a group of frequent patterns of one company is dependent upon, or associated with, a group of frequent patterns of the other company. It is required that pattern relation mining should be conducted without disclosing any

private data to each other, and only an identifier that represents a pattern relation is published to both sites. We propose a privacy-preserving pattern relation mining algorithm, called CPRM. Extensive experiments were conducted for demonstrating the effectiveness of CPRM.

職名： 講師	氏名： 児玉 英一郎
--------	------------

[教育活動]

(a) 学部担当授業科目

解析学，線形代数，学の世界入門，プロジェクト演習 I，ソフトウェア演習 A/B/C，基盤システム演習 A/B/C，
基盤システムゼミ A/B，卒業研究・制作 A/B

(b) 研究科担当授業科目

基盤ソフトウェア特論，ソフトウェア情報学ゼミナール I/II/III，ソフトウェア情報学研究

(c) その他（教育内容・方法の工夫，作成した教材など）

特になし

[研究活動]

(a) 著書

特になし

(b) 学術論文

特になし

(c) 研究発表

国際会議（査読付き）

- 1) Ryo Hatakeyama, Jiahong Wang, Eiichiro Kodama, Toyoo Takata: Collaboratively Mining Maximal Frequent Pattern Relations without Disclosing Private Data, Proceedings of the IASTED International Conference on Parallel and Distributed Computing Networks (PDCN2009), pp.175-180 (Feb. 2009).

国内学会，研究会

- 1) 及川 一樹，王 家宏，児玉 英一郎，高田 豊雄：一般化メルセンヌ素数が法の時の還元法とその楕円曲線暗号の共通言語基盤実装への適用について，平成 20 年度 電気関係学会東北支部連合大会 講演論文集，p. 195 (Aug. 2008).
- 2) 高橋 宏美，王 家宏，児玉 英一郎，高田 豊雄：Time Point を用いた Transitional Ratio マイニング，平成 20 年度 電気関係学会東北支部連合大会 講演論文集，p. 196 (Aug. 2008).
- 3) 阿部 瑠美子，児玉 英一郎，王 家宏，高田 豊雄：セマンティック Wiki を利用したオントロジーの自動構築に関する考察，平成 20 年度 電気関係学会東北支部連合大会 講演論文集，p. 217 (Aug. 2008).
- 4) 畠山 陵，王 家宏，児玉 英一郎，高田 豊雄：分散環境におけるサイト間の頻出パターンの関連性抽出に関する研究，平成 20 年度 電気関係学会東北支部連合大会 講演論文集，p. 218 (Aug. 2008).
- 5) 酒匂 大輔，児玉 英一郎，王 家宏，高田 豊雄：次世代ネットワークにおける Web カメラの検索に関する考察，平成 20 年度 電気関係学会東北支部連合大会 講演論文集，p. 219 (Aug. 2008).
- 6) 徳橋 芳文，児玉 英一郎，高田 豊雄：多層フィルタリングに関する一考察，コンピュータセキュリティシンポジウム 2008 (CSS2008) 論文集，pp. 785-790 (Oct. 2008).
- 7) 畠山 陵，王 家宏，児玉 英一郎，高田 豊雄：分散環境におけるサイト間の頻出パターンの関連性抽出に関する研究，電子情報通信学会技術報告，AI2008-41～44[人工知能と知識処理]，pp. 1-5 (Jan. 2009).
- 8) 及川 一樹，王 家宏，児玉 英一郎，高田 豊雄：受信者の匿名性を送信者に対しても確保可能な DHT を利用した匿名通信路構築手法の提案，2009 年 暗号と情報セキュリティシンポジウム 予稿集 2F3-3 (6 ページ)，同概

要集 p.155 (Jan. 2009).

(d) 研究費の獲得

- 1) 文部科学省科学研究費，基盤研究(C) (2)，次世代Webを用いたWebカメラ検索環境の構築（課題番号19500088），
2,500,000 円（平成19年度～平成21年度），（研究代表者）

(e) その他総説・解説、調査報告・市場調査、特許、受賞、報道など

該当なし

[大学運営]

(a) 全学委員会

該当なし

(b) 学部/研究科の委員会

学部教務委員会，研究科入試委員会

(c) 学生支援

該当なし

(d) その他

該当なし

[社会貢献]

(a) 国や地方自治体などにおける活動

該当なし

(b) 企業・団体などにおける活動

該当なし

(c) 一般教育

県民等を対象としたC言語講習講師

(d) 産学連携

該当なし

(e) 学会などにおける活動

- 1) 電子情報通信学会教育工学研究専門委員

(f) その他

該当なし

[主な業績]

- 研究活動としては，次世代Webを用いたWebカメラ検索環境の構築に関する研究を行った。
- 大学運営としては，学部教務委員，研究科入試委員を務めた。
- 社会貢献としては，県民等を対象としたC言語講習講師や学会の専門委員を務めた。